

原泉地区活性化計画 改善計画書

平成 23 年 8 月作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
静岡県	静岡県 掛川市	原泉地区	平成 20～22 年度	平成 20 年度
事業メニュー名		事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物処理加工施設 (処理加工・集出荷貯蔵施設)		荒茶加工施設の整備 120K-2.5 ライン (蒸機 2 台・粗揉機 2 台・中揉機 1 台・荒茶総合調整機一式)		農事組合法人 原泉茶業組合

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
地域産物の販売量の増加 (荒茶)	4.58%	△34.11%	△744.76%	平成 20～22 年度 販売量の合計

2 目標が達成されなかった要因

<p>取引先の意向の変化や茶価の下落を補うため、品質を重視し、みる芽（若く柔らかい芽）摘採を実施したことにより、単位面積当たりの生茶葉収量が減少し、荒茶販売量が伸び悩んだ。</p> <p>また、平成 22 年 3 月 30 日の凍霜害により、一番茶の生育障害の発生等深刻な被害を受け、生茶葉収量が大きく減少した。</p> <p>今後は、地区内の耕作放棄地発生を防ぎつつ生茶葉収量の減少を抑えるため、後継者のいない茶園の管理等を進めていく。</p>
---

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度	平成 25 年度
事業の推進体制	事業実施主体(農事組合法人 原泉茶業組合)を中心とし、県・市・掛川市農協による支援
具体的取組政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>原泉茶業組合として計画的な茶園管理及び工場運営並びに茶園管理技術の向上に努めることで、適期摘採による生茶葉収量及び荒茶生産量の確保並びに品質の向上を目指す。</li> <li>受益の拡大（耕作放棄のおそれがある茶園の管理）に努めることで生茶葉収量の増加を目指す。</li> </ul>

#### 4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

茶園管理技術の更なる向上と適切な茶園管理の実践、更には組織強化のための新たな担い手育成などに努めるとともに、作付面積の増加などにより生葉生産量を確保することで荒茶販売量の増加を図られたい。

(掛川市農業委員会会長)